



暑い夏を乗り越えて

校長 竹花 正徳

7月19日から始まったちょっと長めの夏休み。いかがお過ごしだったでしょうか。近年、最高温度が30℃を乗り越え、35℃を超える日が増えてきました。計画を立てていても、暑くて屋外での活動が思うように行かなかったこともあるのではないのでしょうか。温暖化の影響で、熱帯地方のスクールのように雲がわきさっとシャワーのような雨を降らせ晴れるといった天気も珍しくなくなってきました。

さて、9月1日(月)より前期後半が始まります。学期の区切りを挟み、9月から12月の4か月、夏から冬への季節の移り変わりの中で、秋の豊かな実りの季節を迎えていきたいと思います。夏休みに入る前に、「4月からたくさんのことを学び成長してきたこと」「夏休みの期間に、学んだことを使いチャレンジすること」そして、「やりきることや困難を乗り越えていくつ力を身に付けていくこと」を話しました。

夏休みに入り、苦手を克服しようと夏季学習教室での頑張り。少人数に分かれ担当の先生からアドバイスを受けながら熱心に取り組んでいました。ミニバスケットボールクラブでの練習にはげみ。担当の先生の指導の下、空調を入れた体育館の中でドリブル・パス・シュートなどに取り組みました。初の演奏に向け金管バンドの練習。担当の音楽の先生の指導だけではなく、東京芸術大学の先生にも教えていただきました。直前まで雨が心配されましたが、地域の夏祭りの会場で「アンダー・ザ・シー」「校歌」の2曲を演奏することができました。学校の中でできるようになったことを社会の中で生かすことができ、嬉しい限りです。学習も運動も演奏もはじめてから上手にできることは少ないと感じています。上手にできるようになるまでは、できないことにつかたり、またチャレンジしたりを繰り返し上手になっていくのだと思います。本校でも、アスリートの方をお招きして子供たちに実技体験やお話をしていただく機会があります。その中で、どの方も、「好きでやってきたことが嫌になったことがある」「止めたいと思ったことがある」しかし「あきらめず、努力し、やりきってきた」とお話ししてくださいます。一流の方も様々な課題を乗り越えてきているのだとその度に思います。9月1日から、今まで学び身に付けてきたことを、まずは、学校の学習の中で生活の中で生かしていったほしいと思います。

11月末の学芸会に向けて、12日に演劇教室を実施します。先生も夏休み期間にプロの先生から指導の仕方を教えてもらっています。

6年の社会科見学(国会体験プログラム)、5年TGG(外国語の活用)、4年社会科見学(ソナエリア)、3年社会科見学(小松菜農家見学)、1・2年生活科見学(葛西臨海)等の見学体験や6年の連合運動会(他校の児童と競技を通して競い合う、自己ベストを目指す)の取組をします。

繰り返しのようになりますが、学んだことを必要なときに使えること、暑さを乗り越えた先に実り多き秋を創っていきましょう。夏休み明けからもよろしくお願いします。